

序 文

公益社団法人全国上下水道コンサルタント協会（水コン協 AWSCJ）は、長年の経験と豊富な技術を有する会員により構成されています。昭和 56 年に任意団体として発足した後、昭和 60 年に社団法人として設立が許可されました。平成 27 年には新ビジョン「AWSCJ Vision 2015-2025」を策定し、そのコンセプトである「これからの上下水道サービスの担い手としての挑戦」の実現に取り組んでいます。平成 30 年 4 月 1 日には公益社団法人に移行し、上下水道事業を通じて社会公共福祉の増進に貢献することなどを、協会活動の基本方針に掲げています。

さて、上下水道は、持続可能な循環型社会における国民の安全・安心な生活環境を守り、かつ地域の活性化にとって重要な社会インフラとしての役割を有しております。私たち上下水道コンサルタントは、社会が求める様々な課題に対し、迅速で効率的な対応や提案を行う重要な責務を担っております。国における、新水道ビジョン、水道法改正、新下水道ビジョン・加速戦略などの施策の動向を踏まえ、生活環境・水環境の向上、ストック・アセットマネジメント、広域化・共同化、防災・減災・国土強靱化、資源利用、ICT・IoT 活用、BIM/CIM 導入、官民連携など多くの課題に対応する必要があります。

さらに事業体等においては、近年職員の削減等により業務執行体制の脆弱化が危惧されており、今後、私たち上下水道コンサルタントの担うべき業務領域や役割は一層拡大すると考えております。同時に責任も大いに自覚しているところです。

上下水道に係わるコンサルタントの資質向上と育成を図るため、昭和 61 年度から毎年、会員による研究成果を技術・研修委員会を中心にとりまとめており、このたび、平成 30 年度技術報告集（第 33 号）を発行する運びとなりました。今後も上下水道をとりまく諸課題への対応を着実に進めるため、技術報告集およびこれらの発表を通じた研鑽の場である技術研究発表会の充実に努力してまいり所存でございます。

従来にも増してのご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成 31 年 3 月

公益社団法人 全国上下水道コンサルタント協会
会 長 村上 雅亮